

# 学生の留学体験記

愛媛大学理学部理学科 数学・数理情報コース

2023 年版

## 概要

2023 年度に海外留学された 2 人の体験記を紹介します。愛媛大学には国際交流支援・留学支援の制度があります。ぜひ留学を考えてみてください。



## Uppsala での生活 (留学体験記)

愛媛大学理学部理学科  
数学・数理情報コース (留学時)  
庄司 鼓太郎

### 1. 基本情報

**留学先:** Uppsala(ウプサラ) 大学, スウェーデン

**留学期間:** 2023 年 8 月中旬～2024 年 1 月下旬 (4 年後期)

**留学費用:** 約 120 万 = 生活費 (寮費などの固定費含む) 20 万 × 5 か月 + 飛行機代約 20 万

(注) 旅行をしすぎたため、また極度の円安であったためこの生活費になります。実際は 15 万程度で生活はしていけるでしょう。ただ円安は続くと思いますが (執筆時期: 2024 年 3 月)。

### 2. 留学のスケジュール

留学開始希望の 1 年前くらいには国際担当の教員に申し出たほうがいいと思います。

3 月～4 月: ウプサラ大学に対しての留学の手続きをオンラインで終える

5 月: 留学先の住居を申し込む。ウプサラ大学の Housing office を通して行った

6 月: 住居が決まる

7 月: スウェーデン大使館へ居住許可申請をとりに行く



(オンラインで手続きはほとんど済ませ、パスポートを対面でチェックされただけである)

8月: 中旬に出発, 様々なオリエンテーション

9月: 講義を受ける, ゼミをする, イベントに参加する, 飲む, 旅行する

10月: 上に同じ

11月: 上に同じ

12月: 上に同じ

1月: 下旬ごろ帰国

### 3. 留学の理由

きっかけというものはありませんが、高校時代からどこかに留学したいと考えていました。海外経験がなかったため、一度でいいから経験したかったということがあったのだと思います。海外旅行もいいですが、現地の人との交流は少なめになってしまいますので、留学という選択肢を選びました。海外に住む、ということをしたかったと言い換えてもいいかもしれませんね。スウェーデンに興味を持ったきっかけは、理学部の科学コミュニケーションプログラムだと思います。私はそのプログラムの学習の一環として北欧の大学との交流会を主催しました。その経験が徐々に北欧への親近感を沸かせたのだと思います。また、ウプサラ大学から日本に来ていた留学生と仲良くしていたのも大きいと感じています。

### 4. 留学準備について

準備と言っても手続き的な準備と、英語等の自分の実力面での準備があると思います。英語等の準備は割と単純で、語学力の目安としてはCEFR B2の英語力があれば十分だと思います。ただ、ちゃんと勉強してきた人じゃないと多分難しいです(留学前はCEFR B1レベルだったので苦労しました)。数学力としては、レベルに合った授業を受けられるのでそこまで問題がないと思います。ただ、現地で修士の授業をとれるくらいの数学力があるといいと思います。というのも、スウェーデン人の学生と話せる数少ないチャンスだからです。学士の講義も英語はありますが、留学生向けなのでスウェーデン人とは会えないですね。その他イベントでもなかなか会えません。修士対象の講義は、スウェーデン人も英語で受ける、というかスウェーデン語では開講されないので、良いチャンスです。手続きの方は、割と早めに動いておくことをお勧めします。手続きには思ったより時間がかかることが多いです。大学との手続きにしても、スウェーデン王国との手続きにしても、時間に余裕をもってやりましょう。

### 5. 留学生活

留学生活は、基本的には日本と変わらないです。友達が日本人以外になり、講義が英語で行われ、スーパーマーケットで「Hej hej!」と店員さんにあいさつされることくらいでしょうか。あまり違いはありませんね。

★ **講義:** 英語で行われ、数学の講義は、英語で行われるということを許容すれば全くもって愛媛大学の講義と変わりません。スウェーデン人たちは発言が多いような気がします。主観ですが。

★ **セミナー:** 本来の開講期間外であったため、指導教員と一対一で行いました。卒業研究やセミナーBのようなゼミ形式ではなく、指導教員に分からないところを聞く、逆に質問されて答えると

いった形でした。それに加えて卒論を書きました。

★ **寮での生活:** 12人がキッチンを共有する形でした。とてもいい仲間たちで、たまにディナーを一緒にとったり、アニメを見たりしました。いい仲間というのは非常に重要で、他の部屋ではパーティーを毎晩され、うるさくて眠れないといったところもあったようです。



★ **学生生活:** Nation と呼ばれる学生団体が 13 個くらいあります (e.g. Upland nation)。そこではバーやクラブ、図書館などを運営しており、そこで友達と飲んだり、踊ったり楽しみました。Gasque と呼ばれるディナー会にもぜひ参加すると思います。どこの Nation でも行っているかと思っています。Nation にはスポーツサークルのようなものがあるので、バドミントンをそこでたまにしていました。また、Union と呼ばれるものもあり、同じようにお酒を飲んだり、ディナーパーティーに参加したりと楽しみました。

★ **旅行:** フランスのパリに 2 回、デンマークのコペンハーゲン、エストニアのタリン、フィンランドのマリエハムン、スウェーデンのラップランド地方にそれぞれ 1 回行きました。詳しくは番外編にて。

## 6. これから留学する、留学がしたいみなさんへ

もし、迷っているのであれば行かすべきです。お金の問題であっても、(100%ではないですが) 奨学金で賄える場合があります。語学力の問題でも、いや、それは努力するしかないのですが、あまり高いレベルを目指しすぎて「行かない」という選択肢をとるのはもったいないと思っています。こればかりは個人個人の問題ですので、あまり深入りするものではないことを承知の上にあります。留学はいいですよ！



もし興味があつたらすぐ、国際関係の担当教員に連絡しましょう。詳細をお教えいただけるはずですよ。

### 番外編

★ 美術が好きな人、興味がある人はパリに行くべきです。おすすめの美術館は「オルセー美術館、オランジュリー美術館、ロダン美術館」です。

★ コペンハーゲンにはチボリ公園というテーマパークのようなものがあります。そのジェットコースターに私は友人の反対で乗れなかったため、乗って感想を聞かせていただける方を募集しています。また、「ルイジアナ美術館」は現代アートが多数あります。おすすめです。

★ マリエハムンは、自転車を借りてサイクリングをするのがおすすめです。いい島です。

★ タリンは最高です。「Pika Jala Restaurant」というお店のマッシュルームスープは絶品です。ぜひ。魔女の宅急便の舞台のモデルとなつたらしいタリン旧市街ですが、割と誇張抜きで綺麗です。

★ ラップランドは冬に行くと寒いですが、凍つた海、綺麗なオーロラ(運次第)、ウィンタースポー

ツを楽しみたい場合にお勧めです。1 週間くらいお友達とコテージ等を借りて共同生活をするのはどうでしょうか。長く滞在すれば、オーロラを見られる確率が上がるでしょう。私は 5 人くらい(日本×2, ドイツ, スイス, 香港)で友達の親の所有物件(当時は空き家)にて暮らしました。



## マルタ大学 留学体験記 (2023 年 9 月～2024 年 2 月)

愛媛大学理学部理学科  
数学・数理情報コース  
香川 真穂

### 基本情報

留学期間： 3 年後期 約 5 か月 (9 月中旬～2 月上旬)  
留学先： マルタ大学 (マルタ共和国)  
留学費用： 奨学金 18 万円  
生活費： 月 5 万～8 万円  
航空費： 25 万～30 万  
宿泊費： 約 69 万



### 留学スケジュール

留学直前： 取る授業の申請、学生寮の契約、留学の手続き (空路の確保等)  
9 月： e-residence 申請書類の準備並びに申請  
授業開始 (留学期間は 10 月からであったが、一部の科目は 9 月から開始された)  
10 月～12 月： 休日にマルタ観光  
1 月～2 月： 学期末考査

### きっかけ・理由

中学 高校で海外の文化等に触れる機会が多く、自分もいつか留学して日本とは異なる環境下での学びを経験してみたいと思うようになりました。コロナ禍により海外へ行くことも難しくなりましたが、このたび留学制度が再開するということでこの機会に思いきって留学することを決めました。

### 留学準備

- **情報収集:** 留学先についてはインターネットや本を利用して情報収集  
その他大学のことや留学制度について、向こうでの生活は担当の先生との面談
- **留学が決まるまで:** 留学未定ではあったが、トビタテ留学 Japan の奨学金申請
- **決まった後:**  
・お金関連 … クレジットカード作成並びに海外でも使える銀行口座の開設 (カードは何かあった

時のためにも2枚用意しました)

・住居…マルタ大学から案内があり、インターネット上で宿泊を予約。(最終日はしっかりと確認する必要があります。基本的に学生寮はマルタ大学の学期最終日の翌日あたりに退室するようになっているそうです。それ以上に宿泊する場合、一部の生徒は部屋を移動することになったりもします)

## 留学中のこと

■ **授業:** すべての授業が英語で行われます。授業後に内容の復習だけでなく英語の復習も行いました。必要に応じて専門科目の英和辞典等を持参していると復習の時にスムーズに振り返りができました。

マルタ大学では60分1コマで、60分授業または120分授業で行われます。また、チャイムや休憩時間等が設けられていないので、連続して授業がある人は移動のために早めに教室を退出する人もいました。

制度の違いに何度も振り回されそうになりましたが、友人の協力もあって何とか楽しく勉学に励むことができました。

■ **日常生活:** 学生寮ではルームメイトとの生活習慣の違いで一部苦勞もしましたが、私の体調が悪いときに必要なものを代わりに買ってきてくれたなど、優しい人達に出会いました。また、休日には現地でできた友人とショッピングに行ったり、少し一人で冒険してみたりと楽しく過ごすことができました。特にクリスマスシーズンに観光地に行くと綺麗に装飾されていて普段と違う景色が印象に残っています。感覚の違いから焦ることの多い留学期間でしたが、日本にいと体験できないことばかりでたくさんのいい思い出が作れました。

## 最後に

留学を通して様々なことを学び、体験しました。大変なこともあったけれども、そのどれもが良い思い出であり、良い経験となるように今後精進していきたいと思います。そして、外国で学ぶ、それは自身に新たな価値観や考え方を与えてくれると思います。もし、留学に悩んでいてもまずは一歩踏み出してみませんか?不安を抱えて海を渡りましたが、振り返ってみると「留学して良かった」と思える留学体験ができたと思います。だから、興味のある方はぜひ挑戦してみてください。